

平成 22 年度
「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」
「大学教育・学生支援推進事業」学生/就職支援推進プログラム
意見交換会【関東・甲信越地区】

事例紹介大学のプログラム概要

1. 東京外国語大学（平成 20 年度選定）

プログラムの名称	e-アラムナイ協働による学生留学支援
（プログラムの概要）	
<p>本取組は、本学同窓会組織が世界各地に有する海外支部の潜在的な言語的、文化的及び人的資源を発掘し組織化することで、本学卒業生の集合知を学生支援力とし、学生の留学前や留学中、更に卒業後のキャリア支援をも視野に入れた支援体制を構築するものである。具体的には、SNS（コミュニティ型の情報交換システム）を活用した支援基盤体制を整備し、言語と地域を軸とした電子支援コミュニティ（e-アラムナイ）を組織する。E-アラムナイにおいて学生の相談や交流、情報交換を活発化させ、学生の不安を解消し、意識と意欲を高めることで、良好な留学環境づくりを支援する。従来の学内組織が実施する学生支援とは異なり、海外に居住する本学卒業生が関わり、留学先の選択や準備に関して適切な助言を行う他、留学中の学習・生活も学内組織と協働して支援する。更に卒業生と在校生の交流の促進により、卒業後のキャリア発達にも好影響が期待される。</p>	

2. 青山学院大学（平成 21 年度選定）

プログラムの名称	人材ニーズと学生意識との格差解消による適職発見支援
（プログラムの概要）	
<p>1, 2 年次に職業適性検査や進路・就職相談などを催して、学生が早くから将来の進路について考え、進路選択という課題を通して自分を見直し、学生生活の目標を再確認するよう指導する。卒業生による体験報告会や業界別の説明会などを通して、学生が社会や企業についての理解を深めるよう図る。就職が決まらずに卒業または早期に離職した卒業生に対しての求人情報を提供するシステムを構築し支援する。また、情報の提供のみならず、情緒面のケアのため常に個別相談対応が可能な体制を整える。</p> <p>3, 4 年生への就職時での直接的な支援として、エントリーシートの添削を中心とした就職支援システム、e-ラーニングとしての IT パスポート導入および独自の PLACEMENT GUIDE を作成し、より多くの学生が受益可能な支援策を講じる。</p>	

3. 文京学院短期大学（平成 21 年度選定）

プログラムの名称	就業力向上支援の強化と既卒者を含むキャリア支援体制の確立
（プログラムの概要） 本学は、英語ビジネスコース（エアライン、トラベル、ホテル、ビジネス）と英語コミュニケーションコース（留学、編入学）の 2 コース制により、短期大学士力育成の取組（人間教育、職業教育、教養教育、実務教育、実践的な英語教育）を行い、全専任教職員が、初年次教育の早い段階から、個別に学生と関わり、学生自身による主体的キャリア活動を支援する体制を構築してきたが、今回、雇用環境の悪化に対応するため、産業界や地域と連携しながら、就業力のうち、主に「コミュニケーション・スキル」「問題解決力」「自己管理能力」「チームワーク力」の向上をはかる取組をより強力に実施する。さらに、未内定者や内定取消学生が安心して学業を続けることができるように、既卒者向就職情報システム、キャリアカウンセラーによる心のケアや情報交換の場としての SNS コミュニティを創設し、休業期間中や、卒業後も継続してキャリア支援を行う体制を確立する。	

4. 多摩大学（平成 21 年度選定）

プログラムの名称	就職内定率 100% を目指した相談体制充実と就職機会強化の取組
（プログラムの概要） 本学（平成元年度開学）では、平成 3 年度の就職部設置以来、4 年生だけでなく 3 年生全員に対しても職員の就職相談員を配置し、個別の就職指導と企業訪問による求人開拓、斡旋を実施してきた。そして、企業訪問により開拓した企業の人事担当者を招いた学内企業説明会を開催してきた。教員も、担当する学生に対して職業意識の醸成、就職力の向上を目指し指導を行い、教職員共同の就職委員会を中心に就職支援体制の確立を図ってきた。今回の取組は、これらを深化させ、①ハローワークや地域の企業と連携して専門知識や勤務経験のある者を就職相談員として増員する。②教職員一体となって地域の企業等を開拓して学内にて合同企業説明会を開催する。これらによって、学生の就職機会を増加するとともに就職内定率を向上させ、就職支援体制の強化を図ることを目的とする。なお、今回の取組は教員と益々連携することにより、就職内定率の更なる向上につながるものである。	